学校コード F123310106568 注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分: 学部の学科の設置

注1



注2

金城学院大学 看護学部 看護学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人 金城学院 令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 大学運営推進課

職名・氏名

カチョウ オキタ マキト 課長・置田 牧人

電話番号

052-798-0180

(夜間)

同上

e —mail

setti@kinio-u.ac.ip

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に ()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

大学の設置の場合:「〇〇大学」

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

- ・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合:「○○大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。 なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、 当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

看護学部

<₹	i護学科>	ページ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 3
2.	授業科目の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 7
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 18
4.	既設大学等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 19
5.	教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 20
6.	附帯事項等に対する履行状況等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 40
7.	その他全般的事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 41

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

学校法人金城学院

- (2) 大 学 名 金城学院大学
- (3) 調査対象大学等の位置

〒463-8521 愛知県名古屋市守山区大森2-1723

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を())書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
理事長	トガリ ハジメ 戸苅 創 平成28年1月4日		
学長	コムロ ナオコ 小室 尚子 令和2年4月1日		
学 部 長	イチカワ セイイチ 市川 誠一 令和4年4月1日		
学科長等	マツウラ リェコ 松浦 利江子 _{令和4年4月1日}		学科主任

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 令和 4 年度に報告済の内容 → (4) 令和 5 年度に報告する内容 → (5)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 - なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位
 - (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、
 - 別ファイルにて提出してください。
 - 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、

 - 設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、 我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程 を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 学	位又は学科		設 置 時	の計画		学生募集の停	備考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	止について	7用 - 行
看護学部 看護学科 学士(看護学)	(経) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	4 年	100	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次	400 人		

- (注) 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

 - 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、 「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「一」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成3	30年度	令和:	元年度	令和	2 年度	令和	3 年度	令和4年度	令和5年度	平均入学	平均入学 定員超過率	収容定員	収容定員 充 足 率	備	考
区分	春季入学	! その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	定員超過率	(控除後)	充 足 率	(控除後)	UHI	75
A 入学定員	,	. 人	,))	,	,)	, (,)	人 人 100 (-)	人 人						
	ĺ.	Ĺ	Ĺ	<u></u>	ĺ.	Ĺ	ĺ.	ĺ.	<u>[– j</u>	[1						
志願者数	()	()	()	()	()	()	()	()	781 — (–) (–) [–] [–]	555 (-) () [-] []						
受験者数	()	()	() []	()	() []	()	()	()	750 — (–) (–)	540 (-) ()	1. 03倍	1. 03倍	1. 03倍	1. 03倍		
合格者数	()	()	()	()	()	()	()	()	216 — (-) (-) [-] [-]	239						
B 入学者数	()	()	()	()	()	()	()	()	108 — (-) (-) [-] [-]	98 (-) () [-] []						
入学定員超過率 B/A				•		•			1. 08	0. 98						

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「一」を記入してください。
 - () 内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。

 - <u>転入学生は記入しない</u>でください。
 -]内には、<u>留学生の状況について内数で記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)
 - に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は[-]を記入してください。
 - また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。
 - なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。
 - 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、
 - 報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」 附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。□
 - なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「一」としてください。
 - 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。 なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。また、完成年度を越えて
 - 報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」 第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。

なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「一」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成3	0年度	令和:	元年度	令和:	2 年度	令和:	3 年度	令和	4年度	令和!	5年度		
学	年	春季入学	その他の学期												
										108		98			
	1 年次	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[-]	[]	[-]	[]	1	
		()	()	()	()	()	()	()	()	(-)	()	(-)			
										_		108			
	2年次			[]	[]	[]	[]	[]	[]		[]	[-]	[]		
		_		()		()	()	()	()	(-)	()	(-)	())	
	3年次							[]	[]		r 1	_		1	
	3 4 %					()		()	()	[-]	()	[-]	()		
						, ,		()	()	_	()	_	()	7	
	4 年次	,				١,		[]	[]	[-]	г 1	[-]	r 1	1	
								()	()	(-)	()	(-)	())	
										1	08	20	06		
	計	[]	[]	[]	[]	[-]	[-]]	
		()	()	()	()	(-)	(-))	

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

 - ・ 報告年度の5月1日現住の情報を記入してください。(適年度については、各年度未時息の情報をして記入してください。)
 ・ [] 内には、<u>留学生の状況について、**内敷で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 ・ () 内には、<u>留年者の状況について、**内敷で**記入</u>してください。
 ・ <u>編入学生や転入学生も含めて記入</u>してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)

に分けて数値を記入してください。 <u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。 また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。 「計」については、<u>各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、</u>留学生数</u>を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分				内訳		- 4. J. P. T. T. T.
対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	入学した年度	退学	者数	主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
对家平反			7, 0/c+/x		うち留学生数	
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
171170 112			令和元年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和2年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和3年度	人	人	令和元年度	Д	Д	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和4年度	0 人	0 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和5年度	0 人	0 人	令和2年度	人	人	
は加り牛皮			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。<u>(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)</u>
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には<u>編入学生や転入学生も含めて記入</u>してください。
- (5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】		
平成30年度の退学者数(a) = 0 平成30年度の在学者数(b) 0	. =	- %
【令和元年度】		
令和元年度の退学者数(a) = 0 令和元年度の在学者数(b) 0	=	- %
【令和2年度】		
令和2年度の退学者数(a) = 0 令和2年度の在学者数(b) 0	=	- %
【令和3年度】		
令和3年度の退学者数(a) = 0 令和3年度の在学者数(b) 0	- =	- %
【令和4年度】		
令和4年度の退学者数(a) = 0 令和4年度の在学者数(b) 0	=	- %
【令和5年度】		
<u>令和5年度の退学者数(a)</u> = 0 令和5年度の在学者数(b) 0	. =	- %

(注) · <u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示</u>されます。

2 授業科目の概要

<看護学部看護学科>

(1) 一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和5年度】

				l	単位数	数	- 1	専任教	員等	の配置	t	兼	ſ						Ī	単位数	bt .		専任巻	2 員女	の配置		兼
	科目 区分	授業科目の名称	配当年次		選	自由	教	准教授	講師	助粉	助	担兼任			科区		授業科目の名称	配当年次	必修	選	自由	教	推教授	講師	助	助 王	担・兼任
共通教育科目	①キリスト教	キリスト教学 (1) キリスト教学 (2) キリスト教学 (3) キリスト教学 (4) 聖書の読み方 現代世界とキリスト教 医療とキリスト教精神 福祉とキリスト教 キリスト教文化学入門 いのち・こころ	1 前 1 後 2 前 2 前 2 後 1・2 後 1・2 前 1・2 前 1・2 前	2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2		18	12	Bill	30		兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1		通教育科目	Ⅰ金城アイデンティティ科	①キリスト教	キリスト教学 (1) キリスト教学 (2) キリスト教学 (3) キリスト教学 (4) 聖書の読み方 現代世界とキリスト教 医療とキリスト教精神 福祉とキリスト教 キリスト教文化学入門 いのち・ころ	1 前 1 後 2 前 2 前 2 後 1・2 後 1・2 前 1・2 前 1・2 前	2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2		1 1 1 1	12	Pill	9%	4"	兼1 兼1 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 1 1
目	②女性 ③国際理	学の5。 ころ 型書の女性観 歴史の中の女性 世界の女性問題 福祉と女性 女性と文学 男女共同参画社会 性差の科学 世界の多様な文化 世界のを問題 多文化共生社会	1·2後 1·2後 1·2前後 1·2前後 1·2前後 1·2前後 1·2前後 1·2前 1·2前 1·2前 1·2前		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1				②女性 ③国際理	でいる・ころ 型書の女性観 歴史の中の女性 世界の女性問題 福祉と女性 女性と文学 男女共同参画社会 性差の科学 世界の多様な文化 世界の社会問題 多文化共生社会	1·2後 1·2後 1·2前後 1·2前後 1·2前後 1·2前後 1·2前後 1·2前 1·2前 1·2前		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
Ⅱ金城コア科目	解 ④英語教育科目	Topics in Comparative Culture Topics in Contemporary Japan 展文化ニミュニケーション 英語・ミュニケーションA (1) 英語・ミュニケーションE (1) 英語・ミュニケーションE (2) 英語・ミュニケーションE (2) 英語・ミュニケーションF 英語・ミュニケーションG	1・2前 1・2前 1・2前後 1前 1後 2前 2後 2前 2後	1 1	2 2 2 1 1 1 1							兼7 兼6 兼1 兼4 兼4 兼1 兼1 兼1		3	Ⅱ金城コア科目	4 英語教育科目	Topics in Comparative Culture Topics in Contemporary Japan	1・2前 1・2後 1・2前後 1前 1後 2前 2後 2前 2後	1 1	2 2 2 1 1 1 1							兼7 兼6 兼1 兼4 兼4 兼1 兼1 兼1
	⑤外国語教育科目	ドイツ語 (1) ドイツ語 (2) ドイツ語 (3) ドイツ語 (4) ドイツ語会話 (2) ドイツ語会話 (2) ドイツ語会話 (3) ドイツ語会話 (4) フランス語 (2) フランス語 (2) フランス語 (3) フランス語会話 (1) フランス語会話 (1) フランス語会話 (2) フランス語会話 (3) フランス語会話 (4) スペイン語会話 (4) スペイン語 (2) スペイン語 (1) スペイン語会話 (4) スペイン語会話 (4) スペイン語会話 (5)	1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2									兼1 兼1 兼1 兼 兼 1 兼 1				⑤外国語教育科目	ドイツ語 (1) ドイツ語 (2) ドイツ語 (3) ドイツ語 (4) ドイツ語 (4) ドイツ語会話 (2) ドイツ語会話 (3) ドイツ語会話 (4) フランス語 (2) フランス語 (2) フランス語 (3) フランス語 (3) フランス語 (6) フランス語 (2) フランス語音会話 (1) フランス語音会話話 (3) フランス語音会話話 (4) スペイン語 (1) スペイン語 (2) スペイン語 (4) スペイン語音会話話 (3) スペイン語音会話話 (3)	1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2									兼兼 兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼
Ⅱ金城コア科目	⑤外国語教育科目	中国語 (1) 中国語 (2) 中国語 (3) 中国語 (4) 中国語会話 (1) 中国語会話 (1) 中国語会話 (3) 中国語会話 (3) 中国語会話 (4) 韓国・朝鮮語 (1) 韓国・朝鮮語 (2) 韓国・朝鮮語 (2) 韓国・朝鮮語 (3) 韓国・朝鮮語 (4) 韓国・朝鮮語会話 (1) 韓国・朝鮮語会話 (2) 韓国・朝鮮語会話 (2) 韓国・朝鮮語会話 (2)	1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼		通教育科目	Ⅱ金城コア科目	⑤外国語教育科目	中国語 (1) 中国語 (2) 中国語 (3) 中国語 (4) 中国語会話 (1) 中国語会話 (2) 中国語会話 (3) 中国語会話 (4) 韓国·朝鮮語 (1) 韓国·朝鮮語 (2) 韓国·朝鮮語 (2) 韓国·朝鮮語 (4) 韓国·朝鮮語 (4) 韓国·朝鮮語会話 (1) 韓国·朝鮮語会話 (2) 韓国·朝鮮語会話 (2) 韓国·朝鮮語会話 (2) 韓国·朝鮮語会話 (3)	1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼
	教育科目の発	キャリア開発A キャリア開発C キャリア開発D キャリア開発E キャリア開発F 女性みらい	1前 2前 2後 3前 3後 1後	2	2 2 2 2							兼1 兼1 兼1 兼1 兼1				I ア 開 発	キャリア開発A キャリア開発C キャリア開発D キャリア開発E キャリア開発F 女性みらい	1前 2前 2後 3前 3後 1後	1	2 2 2 2							兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
Ⅲ金城展開科目	⑦教養科目	文学A 文学B 文学C 史学A 史学A 史学B 史学C 哲学B 倫理学A 倫理学B 地域研究A 地域研究B 地域研究C 地域研究C 地域研究C 地域研究D 地域研究D 地域研究D	1・2前 1・2前前 1・2前前後 1・2後 1・2後 1・2前後 1・2前後 1・2前後 1・2前後 1・2前 1・2前		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							兼1 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 1 兼 1 1 1 1 1 1 1		: : : :	Ⅲ金城展開科目	⑦教養科目	文学A 文学B 文学C 史学A 史学B 史学C 哲学A 哲学A 哲哲学B 倫理学B 地域研究B 地域研究B 地域研究C 地域研究D 地域研究D 地地	1・2前 1・2前前 1・2前前後 1・2後 1・2後 1・2前後 1・2前後 1・2前後 1・2前後 1・2前前 1・2前前		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							# 1

			文化人類学 宗教学 日本語学 日本語表現 ロジカルシンキング 芸術・音楽 B 芸術・音楽 B 芸術・音楽 B 芸術・音楽 D 芸術・音楽 B 芸術・音楽 B 芸術・音楽 C 芸術・音楽 B 芸術・音楽 C 芸術・音楽 C 芸術・音楽 B 芸術・音楽 T 芸術・音楽 B 芸術・音楽 B 芸術・音楽 B 芸術・音楽 B 芸術・音楽 B 芸術・音楽 B 芸術・音楽 B 芸術・音楽 T 芸術・音楽 B 芸術・音楽 B 芸術・芸術 を 芸術・芸術 を 芸術を 送術・芸術 を 送術・ 送術・ 送術・ 送術・ 送術・ 送術・ 送術・ 送術・ 送術・ 送術・	1・2後 1・2前 1・2前後 1・2前前 1・2前 1・2前 1・2後 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **				अस्ट अस्ट । अस्त वात साम	文化人類学 宗教学 日本語妻現 ロジカルシンキング 芸術・音楽A 芸術・音楽A 芸術・音楽A 芸術・音楽A 芸術・音楽A 芸術・音楽D 芸術・音楽的 芸術・美術A 芸術・美術名 芸術・美術名 芸術・美術名 芸術・美術名 芸術・美術名 芸術・音楽音	1・2後 1・2前 1・2前後 1・2前後 1・2前後 1・2前後 1・2後 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
共通教育科目	城展開	⑦教養科目	経営学B 社会学A 社会学B 名 古理学A も 古星学 A も 古星学 A も 古里学 B も 古理学 B も 古理学 B も 古理学 C 生活活科科学 B 生活活活学 B 食生活活学 B 食生生活活学 B 食生生活活学 B 食生生病学 生物学 B 東京 教育 解学 教験 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東	1・2後 1・2 節後 1・2 前後 1・2 前後 1・2 前後 1・2 前後 1・2 前後 1・2 前後 1・2 前 1・2 前	2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼1111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111121314141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414	i 4 1		教養科目	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	経営学B 社会学A 社会学A 社会学B と	1・2後 1・2前後 1・2前後 1・2前後 1・2前後 1・2前後 1・2前後 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2前 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2	2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼兼1111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111213141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414141414<li< td=""></li<>
		⑧情報教育科目	ないでは 情報リテラシー I T活用 A I T活用 B I T活用 C I T活用 D I T活用 E I T活用 F I T活用 F I T活用 G	1 前 1·2前後 1·2前後 1·2前後 1·2前 1·2前 1·2後 1·2前	2	2 2 2 2 2 2 2 2							兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1			8情報教育科目	ł	A Fidish 「T活用A I T活用B I T活用C I T活用D I T活用E I T活用F I T活用F	1 前 1·2前後 1·2前後 1·2前後 1·2前 1·2前 1·2後 1·2前	2	2 2 2 2 2 2 2 2							兼2 兼 兼 兼 兼 兼 兼 1 兼 1
		⑨S&E教育科目	スポーツ・アンド・エクササイズA スポーツ・アンド・エクササイズB スポーツ・アンド・エクササイズC スポーツ・アンド・エクササイズD スポーツ・アンド・エクササイズF スポーツ・アンド・エクササイズF スポーツ・アンド・エクササイズG スポーツ・アンド・エクササイズH スポーツ・アンド・エクササイズH スポーツ・アンド・エクササイズ語義	1 前 1 前 1 前 1 前 1 前 1 前 2 前 3 後	1	1 1 1 1 1 1 1							兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1			③ S&E 教育科目		スポーツ・アンド・エクササイズA スポーツ・アンド・エクササイズB スポーツ・アンド・エクササイズC スポーツ・アンド・エクササイズD スポーツ・アンド・エクササイズF スポーツ・アンド・エクササイズF スポーツ・アンド・エクササイズH スポーツ・アンド・エクササイズH スポーツ・アンド・エクササイズ搭	1 前前 前前前前前前 前前前前 3 3 8	1	1 1 1 1 1 1 1							兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
		ジェクト科目	キャリアプロジェクト 里山プロジェクト KIDSセンタープロジェクト ボランティアプロジェクト 訪問演奏プロジェクト	1・2通 1・2通 1・2通 1・2通 1・2通		2 2 2 2 2							兼1 兼1 兼1 兼1			ジェクト科目	学生プロ 1	キャリアプロジェクト 里山プロジェクト KIDSセンタープロジェクト ボランティアプロジェクト 訪問演奏プロジェクト	1・2通 1・2通 1・2通 1・2通 1・2通		2 2 2 2 2							兼1 兼1 兼1 兼1
		①海外研修科目	海外留学準備講座	1・2前		1							兼1			①海外研修科目	ì	每外留学準備講座	1・2前		1							兼1
由		科導	小計 (157科目) 基礎ゼミナール	- 1前	14	242	0	0	0	7	0	0	兼97	Ĭ		科導		小計 (157科目) 基礎ゼミナール	- 1前	14	242	0	0 10	0 5	7	0	0	兼98
門教		目入	生命倫理	1 前	1			1	1				兼1	F		日入	4	生命倫理	1 前	1			1	1	,			兼1
教育科目	43		看護英語コミュニケーション (1) 看護英語コミュニケーション (2) 看護英語コミュニケーション (3)	2前 3前 4前	1	1							兼5 兼5 兼5	1	育	ケーショニ レ トーショニ レ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	看護英語コミュニケーション (1) 看護英語コミュニケーション (2) 看護英語コミュニケーション (3)	2前 3前 4前	1	1							兼5 兼5 兼5
	専門 基礎科	しくみと働き	解剖生理学A (人体の構造) 解剖生理学B (人体の機能) 解剖生理学C (生殖・発達・加齢) 生化学	1前 1前 1後 1後	1 1 1 2			2 1 2					兼1		専門基礎科	く世 みの と 働体		解剖生理学A (人体の構造) 解剖生理学B (人体の機能) 解剖生理学C (生殖・発達・加齢) 生化学	1前 1前 1後 1後	1 1 1 2			2 1 2					兼1
	Ш	健康障害と治療	病態生理学 薬理学 栄養学 疾病・病態・治療論 A (循環器・呼吸器・消化器)	1後 2後 1後 2前	1 2 1			3					兼1 兼1		B		39 30	南態生理学 薬理学 栄養学 疾病・病態・治療論 A (循環器・呼吸器・消化器)	1後 2後 1後 2前	1 2 1			3					兼5 兼1
		論	疾病・病態・治療論B (内分泌・腎・生殖器) 疾病・病態・治療論C (血液・免疫・感染)	2 前 2 前	1			3								論	. 2	疾病・病態・治療論 B (内分泌・腎・生殖器) 疾病・病態・治療論 C (血液・免疫・感染)	2前 2前	1			3					
			疾病・病態・治療論D (精神・小児)	2後	1			3									2	疾病・病態・治療論D (精神・小児)	2後	1			3					
			疾病・病態・治療論E (運動器・神経・検査) 臨床心理学 カウンセリング	2後 2前 2前	1 1 1			3					兼1 兼1				F	疾病・病態・治療論E (運動器・神経・検査) 臨床心理学 カウンセリング	2後 2前 2前	1 1 1			3					兼1 兼1
ı	1		カウンセリング	2 前	1	ı	1		I)		17fc	I	ı		;	カウンセリング	2 前	1	1	1	I	I)	ı	1	ηt1

1 1		社	健康科学概論	1後	1	1	1	1		1				ı	i		社	健康科学概論	1後	1			1					_
		会保	公衆衛生看護学概論	2前	2			1									会保	公衆衛生看護学概論	2前	2			1					İ
		障 制	社会保障論	2後	1			1									隙制	社会保障論	2後	1			1					ĺ
		度と	疫学 保健統計学	3 前 1 後	2			1									度と	疫学 保健統計学	3 前 1 後	2			1					ĺ
		社会	保健医療福祉行政論(1)	3前	2			•					兼1				社会	保健医療福祉行政論(1)	3 前	2			•					兼1
		環境	保健医療福祉行政論(2)	4前		1							兼1				環	保健医療福祉行政論(2)	4前		1							兼1
1 -	専 看		家族社会学 看護学概論	1前	2	1			1				兼1		H	存 看	境基	家族社会学 看護学概論	1前	2	1			1				兼1
	門護	礎	看護理論と看護実践への活用	1前	1			1	_						P	明護	碰	看護理論と看護実践への活用	1前	1			1	-				ĺ
	目対	護	看護過程論	2後	1			1	1		2					対	護	看護過程論	2後	1			1	1		2		ĺ
	象と	学	家族看護論	1後	1			1								象と		家族看護論	1後	1				1				İ
	なる		看護倫理	1後	1			1								なる		看護倫理	1後	1			1					ĺ
	人々		医療リスクマネジメント論 基礎看護生活援助技術演習	2後 1前	1 2			2	1		3					人々		医療リスクマネジメント論 基礎看護生活援助技術演習	2後 1前	1 2			2	1		3		ĺ
			基礎看護診療援助技術演習	1 後	2			2	1		3							基礎看護診療援助技術演習	1 後	2			2	1		3		
	地域		看護コミュニケーション論	1 前	1			1	1		2					地域		看護コミュニケーション論	1 前	1			1	1		2		İ
	0		ヘルスアセスメント 基礎看護学実習(1)	2 前 1 前	2			1	1	2	2 6	6				へ の		ヘルスアセスメント 基礎看護学実習 (1)	2 前 1 前	2			1	1	2	6	7	ĺ
	看		基礎看護学実習(2)	2後	2			1	1	_	3	6				看		基礎看護学実習(2)	2後	2			1	1	-	3	6	ĺ
	護実	子地	地域・在宅看護学概論	1後	2			1								護実	子地	地域・在宅看護学概論	1後	2			1					
	践の		地域包括ケア論 地域・在宅看護援助論 (1)	1後 2前	1 2			1		1	1					践の		地域包括ケア論 地域・在宅看護援助論(1)	1後 2前	1 2			1		1	1		ĺ
	基盤	七	地域・在宅看護援助論 (2)	3前	1			1		1	1					基盤	毛	地域・在宅看護援助論(2)	3 前	1			1		1	1		ĺ
	とな	有滞	地域・在宅看護学実習 地域療養体験実習	3後 1後	2			1 2		2	2 4	4 2				とな	看護	地域・在宅看護学実習 地域療養体験実習	3後 1後	2			1 2		2 2	2	4 2	
	る	ルグ			Ė					Z	4	2				る				Ė					2	4	2	
	科目	看り	グローバルヘルス看護学概論	2 前	2			1								科目	看り	グローバルヘルス看護学概論	2 前	2			1					ĺ
	群		グローバルヘルス看護援助論	3 前	1			1			1		兼1			群		グローバルヘルス看護援助論	3前	1			1			1		兼1
	専 健		成人看護学概論	2前	2			1				Н		Ę	Į.	芽 健		成人看護学概論	2前	2				1				T
教	明 康科 課	看	急性期看護援助論	2後	2			١.	1	2	1		44.	幸	枚 禾	斗 課	看	急性期看護援助論	2後	2				1	2	1		22
育科	目題を	護	慢性期看護援助論	2後	2			1		1	1		兼1	1	F		護	慢性期看護援助論	2後	2				1	1	1	l	兼1
目	もつ	-	成人看護援助論	3前	1			1	1	2	2			Ē		もつ	-	成人看護援助論	3前	1				2	2	2	l	l
	人		急性期看護学実習	3後 3後	3			١,	1	1	1	1				人		急性期看護学実習	3後	3				1	1	1	1	
	セヘ	小	慢性期看護学実習 小児看護学概論	2前	2			1	1	1	1	1				々へ	小	慢性期看護学実習 小児看護学概論	3後2前	2				1	1	1	1	
	の看		小児看護援助論(1)	2後	1				1	1	1					の看		小児看護援助論(1)	2後	1				1	1	1		ĺ
	部	護	7 7 6 6 6 6 7 7 8 8 7 7 8 8 7 7 8 8 7 7 8 8 7 8 7	- 1.0	-				-							護	護	7 7 1 1 1 1 2 2 2 2 7 7 Mill	- 1.0					-	-	-		ĺ
	実践	学	小児看護援助論(2)	3 前	1				1	1	1					実践		小児看護援助論(2)	3前	1				1	1	1		
	を展		小児看護学実習	3後	2				1	1	1	1				を展		小児看護学実習	3後	2				1	1	1	1	
	開す	14-	母性看護学概論	2 前	2				1							開す	14	母性看護学概論	2 前	2				1				ĺ
	る	有	母性看護援助論(1)	2後	1				1	1	1					る	有	母性看護援助論(1)	2後	1				1	1	1		İ
	科目	204	母性看護援助論 (2)	3前	1				1	1	1					科目	204	母性看護援助論(2)	3前	1				1	1	1		
	群		母性看護学実習	3後	2				1	1	1	1				群		母性看護学実習	3後	2				1	1	1	1	
		南	高齢者看護学概論	2前	2			1	1	1	1	Ť					繭	高齢者看護学概論	2前	2			1	_	1		1	
		齢者	高齢者看護援助論(1)	2後	1			1		1							齢者	高齡者看護援助論(1)	2後	1			1		1			
		看護															看護											ĺ
		学	高齢者看護援助論(2)	3 前	1			1		1							学	高齢者看護援助論(2)	3前	1			1		1			ĺ
		ka:	高齢者看護学実習	3後	3			1		1	1	1					kak.	高齢者看護学実習	3後	3			1		1	1	1	
		精神	精神看護学概論	2 前	2			1									精神	精神看護学概論	2 前	2			1					ĺ
		看護	精神看護援助論(1)	2後	1			1		1	1						看護	精神看護援助論(1)	2後	1			1		1	1		
		学	精神看護援助論(2)	3前	1			1		1	1						学	精神看護援助論(2)	3前	1			1		1	1		ĺ
			精神看護学実習	3後	2			1		1	1	1						精神看護学実習	3後	2			1		1	1	1	İ
		看護	災害看護論	3前	1					1							看護	災害看護論	3前	1					1			
		0	感染症と社会 看護政策	4前	1	1		1					兼1				0	感染症と社会	4前	1	1		1					兼1
		統合	有護政東 看護管理学	4後 4前	1	1		1	1				兼1				統合	看護政策 看護管理学	4後 4前	1	1		1	1			l	兼1
		と探	チーム医療論	4 前	1			2		1	1		兼4				と探	チーム医療論	4 前	1			2		1	1		兼4
		究	統合実習 看護研究方法と看護実践への活用	4前3前	2			3	3 2	5	6	8					究	統合実習 看護研究方法と看護実践への活用	4前3前	2			2 2	4	5 3	6	8	ĺ
			原著講読	4前	1	1		2	١									原著講読	4前	1	1		2					ĺ
専	呆	公	卒業研究 (八衆第七系第末経数 A	4 通	2	_	-	11	4	7		Ш		F	9 化	2	公	卒業研究 公典衛生系第末授款 A	4 通	2			10	5	7			<u> </u>
門	建	衆	公衆衛生看護支援論A (母子・成人・高齢者保健)	2後	1		2	1			1		兼3	P	月份	æ	衆	公衆衛生看護支援論 A (母子・成人・高齢者保健)	2後	1		2	1			1		兼3
育	腂	衛 生	公衆衛生看護支援論B (特神・陪宗者・歴宗・成為宗)	2後			2	2			2		兼1	ř		果	衛生	公衆衛生看護支援論B	2後			2	2			2	l	兼1
科:		看 護	(精神・障害者・難病・感染症) 公衆衛生看護支援論 C		1		<u> </u>							₹ E	¥ #		看護	(精神・障害者・難病・感染症) 公衆衛生看護支援論 C		1								
		学	公來術生有護又抜繭C (学校保健・産業保健)	3前			1	1					兼2		E		学	公來衛生有護又抜繭 C (学校保健・産業保健)	3 前			1	1					兼2
			公衆衛生看護支援論D (物域於斯、健康教育、地区知識活動)	3前			2	1			2							公衆衛生看護支援論D (物域於斯,健康教育,地区知為汪斯)	3前			2	1			2	l	l
			(地域診断・健康教育・地区組織活動) 公衆衛生看護活動展開論A		1													(地域診断・健康教育・地区組織活動) 公衆衛生看護活動展開論 A		1								ĺ
			公衆衛生看護右動展開論A (個人・家族・集団への保健指導)	2後	1		1	1			2		兼1					公衆衛生看護古動展開論A (個人・家族・集団への保健指導)	2後	1		1	1			2		兼1
			公衆衛生看護活動展開論B (地域診断・健康教育の展開)	4 前			2	1			2							公衆衛生看護活動展開論 B (地域診断・健康教育の展開)	4前			2	1			2	l	l
																												ĺ
			公衆衛生看護活動展開論C (公衆衛生看護活動の統合と展開)	4後			1	1			2							公衆衛生看護活動展開論 C (公衆衛生看護活動の統合と展開)	4後			1	1			2	l	i
$\ \ $			公衆衛生看護管理論 A (看護管理活動・健康危機管理)	4 前	1		1	1			1		兼3					公衆衛生看護管理論 A (看護管理活動・健康危機管理)	4 前	1		1	1			1		兼3
																											l	l
$\ \ $			公衆衛生看護管理論 B (保健師活動の実践)	4後	1		1	1			2							公衆衛生看護管理論 B (保健師活動の実践)	4後	1		1	1			2		i
				4 44	1			١.			_									1								i
			公衆衛生看護学実習(1) 公衆衛生看護学実習(2)	4後 4後			2	1			2 2	1						公衆衛生看護学実習(1) 公衆衛生看護学実習(2)	4後 4後			2	1			2	1	i
E			小計 (89科目)	-	105	_	18	11	_	7	12	10	兼21	Ĺ	_			小計 (89科目)	_	105	6	18	10	5	7	12	10	兼2 8
1	_	_	合計 (246科目)	-	119	248	18	11	4	7	12	10	兼113	1				合計 (246科目)	-	119	248	18	10	5	7	12	10	兼118

卒業要件及び履修方法

午業要件及び履修方法 【卒業要件及び履修方法】 必修科目119単位、共通教育科目③国際理解のうち、「多文化共生社会」「異文化コミュニケーション」 から 2 単位、⑨ S & E 教育科目の選択科目のうち、「ヌボーツ・アンド・エクササイズA ~ G」から 1 単位、前述の選択科目を除いた全ての共通教育科目から 1 単位以上、かつ、公衆衛生看護学分野を除く 専門教育科目の選択科目から 3 単位以上を修得し、126単位以上修得すること。 (履修科目の登録上限:49単位(年間))

【保健師国家試験受験資格を取得する場合の履修方法】 上記の卒業要件上必修科目19単位および「保健医療福祉行政論(2)」1 単位、公衆衛生看護学分野の 18単位を必修、共通教育科目③国際理解のうち、「多文化共生社会」「異文化コミュニケーション」か ら2 単位、③S& E教育科目の選択科目のうち、「スポーツ・アンド・エクササイズA〜G」から1 単 位、前述の選択科目を除いた全ての共通教育科目から1 単位以上、かつ、公衆衛生看護学分野を除く専 門教育科目の選択科目から2 単位以上を修得し、144単位以上修得すること。

卒業要件及び履修方法

「年業要件及び履修方法」 必修科目119単位、共通教育科目③国際理解のうち、「多文化共生社会」「異文化コミュニケーション」 から2単位、②S&E教育科目の選択科目のうち、「スポーツ・アンド・エクササイズA~G」から1 単位、前述の選択科目を除いた全ての共通教育科目から1単位以上、かつ、公衆衛生看護学分野を除く 専門教育科目の選択科目から3単位以上を修得し、126単位以上修得すること。 (履修科目の登録上限:49単位(年間)

【保健師国家試験受験資格を取得する場合の履修方法】 上記の卒業要件上必修科目10単位および「保健医療福祉行政論(2)」1 単位、公衆衛生看護学分野の 18単位を必修、共通教育科目③国際理解のうち、「多文化共生社会」「異文化コミュニケーション」か 5 2 単位、③ S & E 教育科目の選択科目のうち、「スポーツ・アンド・エクササイズA〜G」から 1 単 位、前述の選択科目を除いた全ての共通教育科目から 1 単位以上、かつ、公衆衛生看護学分野を除く専 門教育科目の選択科目から 2 単位以上を修得し、144単位以上修得すること。

【令和4年度】

	科区		授業科目の名称	配当年次	必	単位数 選	自	教	中仕® 准 教	講	の配置助	助	担
#1 *			Le 11 vs 1 46,866 (-)		修	択	由	授	教 授	師	教	手	ff
比 I 通 金	È	(I) +	キリスト教学 (1) キリスト教学 (2)	1 前 1 後	2								兼兼
数句グ		リス	キリスト教学(3)	2前	_	2							兼
1	ſ	1	キリスト教学 (4)	2後		2							兼
月ラン		教	聖書の読み方	1・2後		2							兼
7			現代世界とキリスト教 医療とキリスト教精神	1·2後 1·2前		2							兼兼
1			医療とキリスト教育仲 福祉とキリスト教	1・2前		2							林
ライ			キリスト教文化学入門	1・2後		2							兼
乖			いのち・こころ	1・2後		2							¥
E	1	② 女	聖書の女性観	1・2後		2							兼
		性	歴史の中の女性 世界の女性問題	1・2前 1・2前後		2							兼
			福祉と女性	1・2前後		2							兼
			女性と文学	1・2前後		2							東
			男女共同参画社会	1・2前後		2							兼
	L	_	性差の科学	1・2後		2							Ħ
		3 E	世界の多様な文化	1・2前		2							東
		際	世界の社会問題 多文化共生社会	1・2前 1・2前		2							東東
		理解	Topics in Comparative Culture	1・2前		2							オ
		PF	Topics in Contemporary Japan	1・2後		2							東
			異文化コミュニケーション	1・2前後		2							ォ
II di		④ 英	英語コミュニケーションA (1)	1前	1								東
坩		語	英語コミュニケーションA (2)	1後	1								東
=	2	教	英語コミュニケーションE (1) 英語コミュニケーションE (2)	2 前 2 後		1							東東
ア和		育科	英語コミュニケーションF	2前		1							· オ
E		E	英語コミュニケーションG	2後	L	1	L		L	L	L		À
	T	5	ドイツ語 (1)	1 前		1							À
		外国	ドイツ語 (2)	1後		1							¥
l		部	ドイツ語 (3)	2前		1							*
ĺ		教育	ドイツ語 (4) ドイツ語会話 (1)	2後1前		1							東東
l		育科	ドイツ語会話 (1) ドイツ語会話 (2)	1 刑		1							* *
l		B	ドイツ語会話 (3)	2前		1							л Я
l			ドイツ語会話 (4)	2後		1							À
			フランス語 (1)	1 前		1							À
			フランス語 (2)	1後		1							*
			フランス語(3)	2前		1							東東
			フランス語 (4) フランス語会話 (1)	2後 1前		1							R R
			フランス語会話 (2)	1後		1							1
			フランス語会話 (3)	2前		1							À
			フランス語会話 (4)	2後		1							À
			スペイン語(1)	1前		1							*
			スペイン語(2) スペイン語(3)	1後		1							東東
			スペイン語 (3) スペイン語 (4)	2 前 2 後		1							я я
			スペイン語会話 (1)	1前		1							7
			スペイン語会話 (2)	1後		1							東
			スペイン語会話 (3)	2前		1							兼
1	+	5	スペイン語会話 (4) 中国語 (1)	2後 1前		1							東
i 金		外	中国語 (1)	1 後		1							オオ
. 坊		国	中国語 (3)	2前		1							東
. 7		語教	中国語(4)	2後		1							未
彩		育	中国語会話 (1)	1 前		1							兼
E	1	科目	中国語会話 (2)	1後		1							*
		н	中国語会話(3) 中国語会話(4)	2 前 2 後		1							身
			韓国・朝鮮語 (1)	1前		1							ス 来
			韓国・朝鮮語 (2)	1後		1							· *
			韓国・朝鮮語 (3)	2 前		1							À
l			韓国・朝鮮語 (4)	2後		1							À
			韓国・朝鮮語会話(1)	1前		1							À.
l			韓国・朝鮮語会話(2) 韓国・朝鮮語会話(3)	1後 2前		1							東東
l				2 削 2 後		1							* *
l	t	教⑥	等国・物肝暗云的(4) キャリア開発A	1前	2	_							R
l		育キ	キャリア開発C	2前		2							*
l		科ヤ目リ	キャリア開発D	2後		2							ŧ
l		ア	キャリア開発E	3前		2							*
		開発	キャリア開発F 女性みらい	3後 1後	1	2							東東
Π	П	7	文性みらい 文学A	1 校	1	2							7
金	È	教	文学B	1・2前		2							<i>x</i>
坂用		養科	文学C	1・2前		2							Ŕ
開	Ħ	117	史学A	1・2後		2							ŧ
彩目			史学B	1・2後		2							À.
ľ	1		史学C 哲学A	1・2後 1・2後		2							東東
			哲学A 哲学B	1・2後		2							* *
			倫理学A	1・2前後		2							<i>x</i>
			倫理学B	1・2前		2							*
			地域研究A	1・2後		2							À
			地域研究B	1・2後		2							ŧ
			地域研究C	1・2前		2							*
			地域研究 D 地理	1·2前 1·2前		2							東東
			地埋 文化人類学	1・2削 1・2後		2							* *
			宗教学	1・2後		2							7
			日本語学	1・2前		2							1
ĺ			日本語表現	1・2前後		2							À
			ロジカルシンキング	1・2前		2							À
			芸術・音楽A	1・2前		2							À
	- 1		芸術・音楽B	1・2後		2							*
			芸術・音楽C	1・2後		2		Ī	1	1			À
				1 036									->
			芸術・音楽D	1・2前 1・2前		1 2							k k
				1・2前 1・2前 1・2後		2 2							

		ı		1 036	1	L				1		ı	36-1
			法学 日本国憲法	1・2前 1・2前後		2 2							兼1 兼1
			政治学	1・2前		2							兼1
			平和学 経済学	1・2後 1・2後		2 2							兼1 兼1
			経営学A	1・2前		2							兼1
共	III	7	経営学B	1・2後		2							兼1
通	金	教	社会学A 社会学B	1・2前後 1・2後		2 2							兼1 兼1
教育	城展	養科	名古屋学	1・2前		2							兼1
科目	開科	目	心理学A 心理学B	1・2前後 1・2前		2							兼1 兼1
ľ	Ħ		心理学C	1・2前後		2							兼1
			生活科学A 生活科学B	1・2後 1・2後		2							兼1 兼1
			生活科学C	1・2前		2							兼1
			衣生活学A 衣生活学B	1・2後 1・2前		2 2							兼1 兼1
			次生活学B 食生活学	1・2前		2							兼1
			住生活学	1・2前		2							兼1
			健康科学 生物学A	1・2前 1・2前		2 2							兼1 兼1
			生物学B	1・2後		2							兼1
			環境学 数学	1・2前 1・2前		2 2							兼1 兼1
			統計科学	1 前	2								兼1
			情報学 薬学	1·2後 1·2後		2							兼1 兼1
			教職入門	1・2前		2							兼1
			学校と教育の歴史 発達と学習	1・2後 1・2前後		2 2							兼1 兼1
			教育相談	1・2前後		2							兼1
l		® 情	情報リテラシー ITHE	1前	2	2							兼2 兼1
		報教	I T活用A I T活用B	1・2前後 1・2前後	l	2							兼1
l		育	IT活用C	1・2後		2						ĺ	兼1
l		科目	I T活用D I T活用E	1・2前後 1・2前		2 2						ĺ	兼1 兼1
l			IT活用F	1・2後		2						ĺ	兼1
l		9	I T活用G スポーツ・アンド・エクササイズA	1・2前 1前		2							兼1 兼1
		S &	スポーツ・アンド・エクササイズB	1 前		1							兼1
		E 教	スポーツ・アンド・エクササイズC スポーツ・アンド・エクササイズD	1 前 1 前		1							兼1 兼1
		育	スポーツ・アンド・エクササイズE	1前		1							兼1
		科目	スポーツ・アンド・エクササイズF スポーツ・アンド・エクササイズG	1 前 2 前		1							兼1 兼1
			スポーツ・アンド・エクササイズH	3前		1							兼1
		目ジ(0)	スポーツ・アンド・エクササイズ講義 キャリアプロジェクト	2後 1・2通	1	2							兼1 兼1
		エ学ク生	里山プロジェクト	1・2通		2							兼1
		トプ	KIDSセンタープロジェクト ボランティアプロジェクト	1・2通 1・2通		2 2							兼1 兼1
		科口	訪問演奏プロジェクト	1・2通		2							兼1
		(II) 海											
						l							
		外研	海外留学準備講座	1・2前		1							兼1
			海外留学準備講座	1・2前		1							兼1
		研 修		1・2前	14		0	0	0	0	0	0	
専		研修科目科導	海外留学準備講座 小計 (157科目) 基礎ゼミナール	1・2前 — 1前	14	242	0	0	0	0	0	0	兼1 兼98
門教		研修科目 導入 五	小計 (157科目) 基礎ゼミナール 生命倫理	- 1前 1前	1		0		_	_	0	0	兼98 兼1
門	3 #	研修科目 導入 看護	小計 (157科目) 基礎ゼミナール	1前	1		0	8	3	_	0	0	兼98
門教育	立 本 !!	研修科目 導入 看護英語 ローミュニ の	小計 (157科目) 基礎ゼミナール 生命倫理 看護英語 ミュニケーション (1) 看護英語 ニュニケーション (2) 看護英語 ニュニケーション (3)	- 1前 1前 2前 3前 4前	1 1 1		0	1	3	_	0	0	兼98 兼1 兼5
門教育科	専門	研修科目 導入 コミュニ のしく 一 の しょ	小計 (157科目) 基礎ゼミナール 生命倫理 看護英語コミュニケーション (1) 看護英語コミュニケーション (2)	- 1前 1前 2前 3前	1 1 1	242	0	8	3	_	0	0	兼98 兼1 兼5 兼5
門教育科	専門基礎	研修科目 導入 看護英語	小計 (157科目) 基礎ゼミナール 生命倫理 看護英語 フェニケーション (1) 看護英語 フェニケーション (2) 看護英語 フェニケーション (3) 解剤生理学A (人体の構造) 解剤生理学B (人体の機能) 解剤生理学C (生殖・発達・加齢)	- 1前 1前 2前 3前 4前 1前 1後	1 1 1 1	242	0	2	3	_	0	0	兼98 兼1 兼5 兼5 兼5
門教育科	専門基	研修科目 導入 君護英語 人間の身体 健	小計 (157科目) 基礎ゼミナール 生命倫理 看護英語コミュニケーション (1) 看護英語コミュニケーション (2) 看護英語コミュニケーション (3) 解剖生理学A (人体の機造) 解剖生理学B (人体の機能)	- 1前 1前 2前 3前 4前 1前	1 1 1 1 1 1	242	0	2 1	3	_	0	0	兼98 兼1 兼5 兼5
門教育科	専門基礎科	研修科目 導入 コミュニ のしくみと 健康障 イキョ 傷き	小計 (157科目) 基礎ゼミナール 生命倫理 者護英語 コニケーション (1) 者護英語 コニニケーション (2) 者護英語 コニニケーション (3) 解剖生理学A (人体の構造) 解剖生理学C (生殖・発達・加齢) 生化学 素理学 素理学	- 1前 1前 2前前 4前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 8 4 8 4 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	1 1 1 1 1 1 1 2	242	0	2 1 2	3	_	0	0	兼98 兼1 兼5 兼5 兼5 兼1
門教育科	専門基礎科	研修科目 導入 コミュニ のしくみと 健康 不復英語 人間の身体	小計 (157科目) 基礎ゼミナール 生命倫理 看護英語コミュニケーション (1) 看護英語コミュニケーション (2) 看護英語コミュニケーション (3) 解剖生理学A (人体の機能) 解剖生理学B (人体の機能) 解剖生理学学会 (人体の機能) 解剖生理学 装理学 装廃・病態・治療論A	- 1 前前 2 前前 3 前前 1 1 1 1 2 後 2 後 2 後 2 1 8	1 1 1 1 1 1 1 2	242	0	2 1 2	3	_	0	0	兼98 兼1 兼5 兼5 兼5
門教育科	専門基礎科	研修科目 導入 コミュニ のしくみと 健康障害と治・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	小計 (157科目) 基礎ゼミナール 生命倫理 看護英語 コニケーション (1) 看護英語 コニニケーション (2) 看護英語 コニニケーション (3) 解剖生理学A (人体の構造) 解剖生理学C (生殖・発達・加齢) 生化学 業理学 業選学 栄養学 業選学 栄養・病能・治療論A (循環器・呼吸器・消化器)	- 1前 1前 2前前 4前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 8 4 8 4 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	1 1 1 1 1 1 1 2 1 2	242	0	2 1 2	3	_	0	0	兼98 兼1 兼5 兼5 兼5 兼1
門教育科	専門基礎科	研修科目 導入 看護英語 人間の身体 健康障害と	小計 (157科目) 基礎ゼミナール 生命倫理 看護英語コミュニケーション (1) 看護英語コミュニケーション (2) 看護英語コミュニケーション (3) 解剖生理学A (人体の機能) 解剖生理学B (人体の機能) 解剖生理学学会 (人体の機能) 解剖生理学 装理学 装廃・病態・治療論A	- 1 前前 2 前前 3 前前 1 1 1 1 2 後 2 後 2 後 2 1 8	1 1 1 1 1 1 1 2 1 2	242	0	2 1 2	3	_	0	0	兼98 兼1 兼5 兼5 兼5 兼1
門教育科	専門基礎科	研修科目 導入 電護英語 人間の身体 健康障害と治療	小計 (157科目) 基礎ゼミナール 生命倫理 看護英語コミュニケーション (1) 看護英語コミュニケーション (2) 看護英語コミュニケーション (3) 解剖生理学A (人体の構造) 解剖生理学B (人体の機能) 解剖生理学医 (生殖・発達・加齢) 生化学 新態生理学 業理学 栄養学 (精環器・呼吸器・消化器) 疾病・病態・治療論B ((均分泌・腎・生殖器) 疾病・病態・治療論B	- 1 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前 前 後 後 後 後 後 後 後 1 後 2 前	1 1 1 1 1 1 1 2 1 2 1	242	0	2 1 2 3	3	_	0	0	兼98 兼1 兼5 兼5 兼5 兼1
門教育科	専門基礎科	研修科目 導入 電護英語 人間の身体 健康障害と治療	本語 (157科目) 基礎ゼミナール 生命倫理 看護英語コミュニケーション (1) 看護英語コミュニケーション (3) 解剖生理学A (人体の構造) 解剖生理学B (人体の機能) 解剖生理学B (人体の機能) 解剖生理学要子 (生殖・発達・加齢) 生化学 病態生理学 素理学 疾病・病態・治療論 A (循環器・呼吸器・消化器) 疾病・病態・治療論 B (内分泌・腎・生殖器) 疾病・病態・治療論 B (内分泌・腎・生殖器) 疾病・病態・治療論 C (血液・免疫・感染)	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	1 1 1 1 1 1 2 1 2 1 1	242	0	2 1 2 3 3 3 3 3	3	_	0	0	兼98 兼1 兼5 兼5 兼5 兼1
門教育科	専門基礎科	研修科目 導入 電護英語 人間の身体 健康障害と治療	小計 (157科目) 基礎ゼミナール 生命倫理 看護英語コミュニケーション (1) 看護英語コミュニケーション (2) 看護英語コミュニケーション (3) 解剖生理学A (人体の構造) 解剖生理学C (生殖・発達・加齢) 生化学 業理学 業理学 業選学 栄養学 業理学 栄養・病態・治療論A (循環器・呼吸器・消化器) 疾病・病態・治療論B ((内今泌・腎・注・強語) 疾病・病態・治療論B (疾病・病態・治療論B (疾病・病態・治療論B (病治・免疫・感染) 疾病・病態・治療論D (精神・小児)		1 1 1 1 1 1 2 1 2 1 1	242	0	2 1 2 3 3 3 3	3	_	0	0	兼98 兼1 兼5 兼5 兼5 兼1
門教育科	専門基礎科	研修科目 導入 電護英語 人間の身体 健康障害と治療	本語 (157科目) 基礎ゼミナール 生命倫理 看護英語コミュニケーション (1) 看護英語コミュニケーション (3) 解剖生理学A (人体の構造) 解剖生理学B (人体の機能) 解剖生理学B (人体の機能) 解剖生理学要子 (生殖・発達・加齢) 生化学 病態生理学 素理学 疾病・病態・治療論 A (循環器・呼吸器・消化器) 疾病・病態・治療論 B (内分泌・腎・生殖器) 疾病・病態・治療論 B (内分泌・腎・生殖器) 疾病・病態・治療論 C (血液・免疫・感染)	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	1 1 1 1 1 1 2 1 2 1 1	242	0	2 1 2 3 3 3 3 3	3	_	0	0	兼98 兼1 兼5 兼5 兼5 兼1
門教育科	専門基礎科	研修科目 導入 電護英語 人間の身体 健康障害と治療	小計 (157科目) 基礎ゼミナール 生命倫理 看護英語コミュニケーション (1) 看護英語コミュニケーション (2) 看護英語コミュニケーション (3) 解剤生理学A (人体の構造) 解剤生理学C (生殖・発達・加齢) 生化学 素理学 栄養学 素理学 栄養・病態・治療論 A (循環器・呼吸 器・消化器) 疾病・病態・治療論 B ((内分泌・腎・治療論 C (血液・免疫 た感験) 疾病・病態・治療論 D (精神・小児) 疾病・病態・治療論 D (精神・小児)		1 1 1 1 1 1 2 1 2 1 1 1 1 1	242	0	2 1 2 3 3 3 3 3	3	_	0	0	*************************************
門教育科	専門基礎科	研修科目 導入 看護英師 しょうかと 健康障害と治療論 現 有量 クボーニュー 働心	小計 (157科目) 基礎ゼミナール 生命倫理 香護英語コミュニケーション (1) 看護英語コミュニケーション (3) 解剖生理学A (人体の構造) 解剖生理学A (人体の構造) 解剖生理学A (人体の機能) 解剖生理学区(生殖・発達・加齢) 生化学 病態生理学 茱萸学 疾病・病態・治療論A (特環器・呼吸器・消化器) 疾病・病態・治療論B (内分泌・腎・生殖器) 疾病・病態・治療論B (内分泌・腎・生殖器) 疾病・病態・治療論C (植神・病態・治療論C (精神・病態・治療論D (精神・病態・治療論D (精神・病態・治療論D (精神・病態・治療論B (養神・病態・治療論B	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	1 1 1 1 1 1 2 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	242	0	2 1 2 3 3 3 3 3	3	_	0	0	兼98 <u>兼1</u> 兼5 兼5 兼1 兼1
門教育科	専門基礎科	研修科目 導入 看護英師 しにのおな 健康障害と治療論 現 看護英師 しのかな 健康障害と治療論 現金	小計 (157科目) 基礎ゼミナール 生命倫理 看護英語コミュニケーション (1) 看護英語コミュニケーション (2) 看護英語コミュニケーション (3) 解剖生理学A (人体の構造) 解剖生理学A (人体の構造) 解剖生理学子 (生殖・発達・加齢) 生化学 業理学 栄養学 素雅・一般 (循環語・呼吸器・消化器) 疾病・病態・治療論 B ((内分泌・患・治療論 B ((内分泌・悪・治療論 B (原病・発・患・診療論 D (病・・病態・免疫・・治療論 D (病・・病態・力・療能・力・療能・力・(血液・免疫・・治療・ D (精神・・小児) 疾病・病態・対・治療・ D (精神・・小児) 疾病・病態・神経・検査 臨床心理学 カウンセリング 健康科学概論 公衆衛生看護学概論	- 前前前前前前前後後後後前前前前前後後後後後前前前前後後後後後前前前前後後後後後前前前前	1 1 1 1 1 1 2 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	242	0	2 1 2 1 2 3 3 3 3 3 3 3	3	_	0	0	*************************************
門教育科	専門基礎科	研修科目 導入 看護英師 しじのみな 健康障害と治療論 境 有間 クボーニー 鳴い	小計 (157科目) 基礎ゼミナール 生命倫理 香護英語コミュニケーション (1) 看護英語コミュニケーション (3) 解剖生理学A (人体の構造) 解剖生理学A (人体の構造) 解剖生理学と(生殖・発達・加齢) 生化学 病態生理学 栄養学 疾病・病態・治療論 A ((精環器・呼吸器・消化器) 疾病・病態・治療論 B ((内分泌・腎・生療論) (内分泌・腎・生療論) (病神・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	1 1 1 1 1 1 2 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	242	0	3 3 3 3 3	3	_	0	0	*************************************
門教育科	専門基礎科	研修科目 導入 看護英師 しにのみな 健康障害と治療論 境 有目 クポーニー 鳴な 健康障害と治療論	小計 (157科目) 基礎ゼミナール 生命倫理 看護英語コミュニケーション (1) 看護英語コミュニケーション (2) 看護英語コミュニケーション (3) 解剖生理学A (人体の構造) 解剖生理学C (生殖・発達・加齢) 生化学 業理学 栄養学 業選学 栄養等 (循環素・手を、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- 前前前前前後後後後後前前前前後後後後後前前前前後後後後後前前前前後後後後後前前後前後	1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2	242	0	2 1 2 1 2 3 3 3 3 3 3 1 1 1	3	_	0	0	兼98 兼1 兼5 兼5 兼6 兼1 兼1 兼1 兼1
門教育科	専門基礎科	研修科目 導入 看護英師 しにのみた 健康障害と治療論 現 看護英師 しのみた 健康障害と治療論 境 対象 (単元) (単元) (単元) (単元) (単元) (単元) (単元) (単元)	小計 (157科目) 基礎ゼミナール 生命倫理 看護英語コミュニケーション (1) 看護英語コミュニケーション (3) 解剖生理学A (人体の構造) 解剖生理学A (人体の構造) 解剖生理学と (生殖・発達・加齢) 生化学 病態生理学 実養学 疾病・病態・治療論 A ((情環器・呼吸器・消化器) 疾病・病態・治療論 B ((内分泌・腎・生療論) ((精神・小児) (精神・小児) (精神・小児) (精神・病態・治療論 D ((精神・小児) (精神・病態・治療論 D ((精神・病態・治療論 D ((精神・小児) (精神・病態・治療論 D ((精神・病態・治療論 D ((精神・病態・治療論 B ()) (大病・病態・治療論・神経・検疫・感論・力ウンセリング 健康科学概論 公衆衛に降論 後受・	- 前前前前前前前前前後後後後後 前 前 後 後 前前後前後前後前後前後前後前後	1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 2 1 1 2 1 2 2 1 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	242	0	3 3 3 3 3 1 1 1 1	3	_	0	0	*************************************
門教育科	専門基礎科目	研修科目 導入 青海英師 のしくみな 健康障害と治療論 現 南海英師 のしくみな 健康障害と治療論 現 カー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	小計 (157科目) 基礎ゼミナール 生命倫理 看護英語コミュニケーション (1) 看護英語コミュニケーション (2) 看護英語コミュニケーション (3) 解剖生理学A (人体の構造) 解剖生理学P (人体の機能) 解剖生理学P (生殖・発達・加齢) 生化学 業理学 栄養学 業務・一部 (新羅 (衛環 新能・治療論 A (衛環 新能・治療論 B ((内分泌・発産 施) (所) (所) (所) (所) (所) (所) (所) (所) (所) (所	- 前前前前前後後後後後前前前前後後後後後前前前前後後後後後前前前前後後後後後前前前後前後	1 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1	0	3 3 3 3 3 1 1 1 1	3 1	_	0	0	
門教育科	専門基礎科目 専門	研修科目 導入 看護英語 ウレベルと 健康障害と治療論 現 看護英語 りょくみと 健康障害と治療論 現 大田の身体 健康	小計 (157科目) 基礎でミナール 生命倫理 香護英語コミュニケーション (1) 香護英語コミュニケーション (3) 解剖生理学品 (人体の構造) 解剖生理学品 (人体の構造) 解剖生理学子 (生殖・発達・加齢) 生化学 病態生理学 栄養学 栄養学 栄病・病態・治療論品 (内分泌・腎・生療論 (内分泌・腎・生療論 (内分泌・腎・生療論 (内分泌・腎・生療論 (内分泌・腎・生療論 (内分泌・腎・生療論 (内分泌・腎・生療論 (内分泌・腎・生療論 (内分泌・腎・生療論 (内分泌・腎・生療論 (内分泌・腎・生療論 (内分泌・腎・生療論 (内分泌・腎・生療論 (内分泌・腎・生療論 (内分泌・腎・生療論 (内分泌・腎・生療・治療・生療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療	- 前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前	1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2	1	0	3 3 3 3 3 1 1 1 1	3	_	0	0	兼98 <u>兼1</u> <u>兼5</u> <u>兼5</u> <u>兼1</u> <u>兼1</u> <u>兼1</u> <u>兼1</u> <u>兼1</u> <u>兼1</u> <u>兼1</u> <u>兼1</u>
門教育科	専門基礎科目	研修科目 導入 看護英師 のしくみと 健康障害と治療論 境 看護英師 してみと 健康障害と治療論 境 大田の身体 建硫石護 基礎看護	小計 (157科目) 基礎ゼミナール 生命倫理 看護英語コミュニケーション (1) 看護英語コミュニケーション (2) 看護英語コミュニケーション (3) 解剖生理学A (人体の構造) 解剖生理学B (人体の機能) 解剖生理学医(生殖・発達・加齢) 生化学 引態生理学 実養学 疾病・病態・治療論 B ((内分泌・腎・治療論 B ((内分泌・腎・治療論 B ((内分泌・腎・治療論 B () (内分泌・腎・治療論 B () (疾病・病態・治療論 D () (疾病・病態・治療論 D () () () () () () () () () () () () ()	- 前前前前前前後後後後後前前前前前後後後後後前前前前前後後後後後前前前前後後後後後	1 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1	0	3 3 3 3 3 1 1 1 1	3 1	_	2	0	*************************************
門教育科	専門基礎科目 専門科	研修科目 導入 音楽美語 人間の身体 健康障害と治療論 投会保障制度と社会療 基礎者護の 現った ・	小計 (157科目) 基礎でミナール 生命倫理 看護英語コミュニケーション (1) 看護英語コミュニケーション (2) 看護英語コミュニケーション (3) 解剖生理学A (人体の構造) 解剖生理学B (人体の機能) 解剖生理学医(生殖・発達・加齢) 生化学 有態生理学 業等学 疾病療器・呼吸 治療論 B ((内分泌・腎・治療論 B ((内分泌・腎・治療論 B ((内分泌・腎・治療論 B ((内分泌・腎・治療論 B () (内分泌・腎・治療論 B () (内分泌・腎・治療論 B () () () () () () () () () () () () ()		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 1 1	1	0	3 3 3 3 3 1 1 1 1 1	1	_		0	*************************************
門教育科	専門基礎科目 専門科	研修科目 導入 青海英語 のしょみと 健康障害と治療論 現 南海英語 のしょみと 健康障害と治療論 社会保障制度と社会環 基礎看護学 おびました	小計 (157科目) 基礎ゼミナール 生命倫理 看護英語コミュニケーション (1) 看護英語コミュニケーション (2) 看護英語コミュニケーション (3) 解剖生理学A (人体の構造) 解剖生理学B (人体の構造) 解剖生理学B (人体の構造) 解剖性理学B (人体の構造) 解剖性理学B (人体の構造) 解剖性理学B (人体の構造) 解剖性理学B (人体の構造) 解剖性理学 栄養学 栄養・病態・治療論 A (領環、病態・治療論 B ((内分泌・病態・疫・患療論 B ((内分泌・療能・力)・治療論 B ((内分泌・療能・力)・治療論 B ((対分泌・療能・力・)・治療論 B ((対分泌・療能・療・患療・患療・患療・患療・患療・患療・患療・患療・患療・患療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療		1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 1	1	0	3 3 3 3 3 1 1 1 1	1 1	_		0	*************************************
門教育科	専門基礎科目 専門科	研修科目 導入 音導英語 りょくみと 健康障害と治療論 境 音響ス 音響英語 しょうかと 健康障害と治療論 地名保障制度と社会標 基礎看護学	小計(157科目) 基礎でミナール 生命倫理 看護英語コミュニケーション(1) 看護英語コミュニケーション(2) 看護英語コミュニケーション(3) 解剤生理学A(人体の構造) 解剤生理学B(人体の機能) 解剤生理学と(生殖・発達・加齢) 生化学 病態生理学 栄養学 栄病(精震器・呼吸器・消化器) 疾病・病態・治療論 B(内分泌・腎・治療論 B(内分泌・腎・治療論 B(内分泌・腎・治療・療・疾病・病態・治療・ (血液・免疫、) 疾病・病態・治療・病態・治療・ (適応・院・ (進応・院・ (進応・) (東病・病態・) (東病・病態・) (東病・病態・) (東病・病態・) (東病・病態・) (東病・病態・) (東病・病態・) (東病・病態・) (東病・病態・) (東病・病態・) (東病・病態・) (東病・病態・) (東病・) (建成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・) (重成・)	- 1 前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前前	1 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1	0	3 3 3 3 3 1 1 1 1 1	1	_		0	*************************************
門教育科	専門基礎科目 専門科	研修科目 導入 音道英語 ウレベルと 健康障害と治療論 現 音道英語 クボッコ 働化 現 現 音道英語 のしてみと 健康障害と治療論 は 現 は 大会保障制度と社会療 基礎者護学	小計(157科目) 基礎ゼミナール 生命倫理 看護英語コミュニケーション(1) 看護英語コミュニケーション(2) 看護英語コミュニケーション(3) 解剖生理学A(人体の構造) 解剖生理学B(人体の機能) 解剖生理学B(人体の機能) 解剖性理理学E(生殖・発達・加齢) 生化学 業理学 栄養・病態・治療論 A(循環 病態・治療論 B((付内治・治療論 B((付内治・治療論 B)((内内治・治療・免疫・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・		1 1 1 1 1 2 1 1 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1	0	3 3 3 3 3 3 1 1 1 1 1 1 1 2 2	1 1 1 1 1 1	_	2 2 2	0	*************************************
門教育科	専門基礎科目 専門科	研修科目 導入 音導英語 りょくみと 健康障害と治療論 境 音響ス 音響英語 しょうかと 健康障害と治療論 地名保障制度と社会標 基礎看護学	小計(157科目) 基礎でミナール 生命倫理 看護英語コミュニケーション(1) 看護英語コミュニケーション(2) 看護英語コミュニケーション(3) 解剖生理学名(人体の構造) 解剖生理学区(生殖・発達・加齢) 生化学 精態生理学 栄養学 栄養等 疾病(精震器・呼吸器・消化器) 疾病・病態・治療論 B (内)分泌・腎・治療論 態・治療・腎・治療・ (内)分泌・腎・治療・治療・ (内)分泌・腎・治療・ (大病療)・治療・治療・ (連へ)・一・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 1 1 3 1 4 1 1 1 1 1 2 2 2 3 1 3 4 4 1 1 1 1 1 2 2 2 1 1 2 2 3 1 3 4 4 1 1 1 1 1 2 2 2 3 1 3 4 1 1 1 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 3 1 3 4 1 1 1 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 1 2 1 1 2 2 1 1 1 1 1 2 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 1	1	0	3 3 3 3 3 3 1 1 1 1 1 1 1 2	1 1 1 1 1	_	2	0	*************************************
門教育科	専門基礎科目 専門科	科目 ター・	小計(157科目) 基礎せミナール 生命倫理 看護英語コミュニケーション(1) 看護英語コミュニケーション(2) 看護英語コミュニケーション(3) 解剖生理学A(人体の構造) 解剖生理学E(生殖・発達・加齢) 生化学 病態生理学 (、簡素病態・治療論 B(八分泌・腎・治療論 B(八分泌・腎・治療論 B(八分泌・腎・治療論 B(八分泌・腎・治療論 B(次病・病態・治療・筋・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・		1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 2 2 2 1 1 1 1 1	1	0	3 3 3 3 3 3 1 1 1 1 1 1 1 2 2 1 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1	_	2 2 2 2	4 6	*************************************

		護	学地	地域・在宅看護学概論	1後	2	ĺ	Ī	ı	ı	ı	ı	1 1	# 1
		実	城	地域包括ケア論	1後	1					1			兼1
		践	在	地域・在宅看護援助論(1)	2 前	2			1		1	1		
		の基	宅	地域・在宅看護援助論(2)	3 前	1			1		1	1		
		盤	看	地域・在宅看護学実習	3後	2			1		2	2	4	
		とな	護	地域療養体験実習	1後	1					2	3	2	
		なる科	アルロスイ	グローバルヘルス看護学概論	2 前	2			1					
		目群	護ル	グローバルヘルス看護援助論	3 前	1			1			1		兼1
専門	専門	健康	成人	成人看護学概論	2 前	2			1					
判	科	課	看	急性期看護援助論	2後	2			١.	1	2	1		de s
育	目	題	護	慢性期看護援助論	2後	2			1		1	1		兼1
科目		をも	学	成人看護援助論	3 前	1			1	1	2	2		
		つん		急性期看護学実習	3後	3				1	1	1	1	
		人々		慢性期看護学実習	3後	3			1		1	1	1	
		\sim	小児	小児看護学概論	2前	2				1				
		の看機	看護	小児看護援助論(1)	2後	1				1	1	1		
		護実践	学	小児看護援助論(2)	3 前	1				1	1	1		
		を		小児看護学実習	3後	2				1	1	1	1	
		展	母性	母性看護学概論	2前	2				1				
		開する	正 看 護	母性看護援助論(1)	2後	1				1	1	1		
		る科目	学	母性看護援助論(2)	3 前	1				1	1	1		
		群		母性看護学実習	3後	2				1	1	1	1	
			高台	高齢者看護学概論	2前	2			1					
			齢者看	高齢者看護援助論 (1)	2後	1			1		1			
			護学	高齢者看護援助論 (2)	3 前	1			1		1			
				高齢者看護学実習	3後	3			1		1	1	1	
			精神	精神看護学概論	2前	2			1					
			看護	精神看護援助論(1)	2後	1			1		1	1		
			学	精神看護援助論 (2)	3 前	1			1		1	1		
				精神看護学実習	3後	2			1		1	1	1	
			看護	災害看護論	3前	1					1			
			の	感染症と社会 看護政策	4前 4後		1		1					兼1
			統	有護管理学 看護管理学	4 仮	1	1		1	1				兼1
			合レ	チーム医療論	4前	1			2	1	1	1		兼4
			探	統合実習	4前	2			3	3	5	6	8	2014
			究	看護研究方法と看護実践への活用	3前	1			3	2	3			
				原著講読	4 前		1		2					
Ļ	/	_		卒業研究	4 通	2			11	4	7			
専門教	保健師		公 衆 衛	公衆衛生看護支援論A (母子・成人・高齢者保健)	2後			2	1			1		兼3
教育科	即課程		衛 生 看	公衆衛生看護支援論B (精神・障害者・難病・感染症)	2後			2	2			2		兼1
Ħ	性科目		護学	公衆衛生看護支援論 C (学校保健・産業保健)	3 前			1	1					兼2
				公衆衛生看護支援論D (地域診断・健康教育・地区組織活動)	3 前			2	1			2		
				公衆衛生看護活動展開論A (個人・家族・集団への保健指導)	2後			1	1			2		兼1
				公衆衛生看護活動展開論B (地域診断・健康教育の展開)	4 前			2	1			2		
				公衆衛生看護活動展開論 C (公衆衛生看護活動の統合と展開)	4後			1	1			2		
				公衆衛生看護管理論 A (看護管理活動・健康危機管理)	4 前			1	1			1		兼3
				公衆衛生看護管理論B (保健師活動の実践)	4後			1	1			2		
					4.00			_						
				公衆衛生看護学実習(1) 公衆衛生看護学実習(2)	4後 4後			3	1			2	1	
۲		-		小計(89科目)	- 1%	105	6	18	11	4	7	12	10	₩22
				合計 (246科目)	-	119	248	18	11	4	7	12	10	兼115
				卒業要	件及び履修	方法								
			d 77 -	『履修方法】										

【卒業要件及び履修方法】 必修科目119単位、共通教育科目②国際理解のうち、「多文化共生社会」「異文化コミュニケーション」 から2単位、③S&E教育科目の選択科目のうち、「スポーツ・アンド・エクササイズA〜G」から1 単位、前述の選択科目を除いた全ての共通教育科目から1単位以上、かつ、公衆衛生看護学分野を除く 専門教育科目の選択科目から3単位以上を修得し、126単位以上修得すること。 (履修科目の登録上限:49単位(年間))

【保健師国家試験受験資格を取得する場合の履修方法】 上記の卒業要件上必修科目19単位および「保健医療福祉行政論(2)」1 単位、公衆衛生看護学分野の 18単位を必修、共通教育科目③国際理解のうち、「多文化共生社会」「異文化コミュニケーション」か ら2 単位、③S & E 教育科目の選択科目のうち、「スポーツ・アンド・エクササイズA〜G」から1 単 位、前述の選択科目を除いた全ての共通教育科目から1 単位以上、かつ、公衆衛生看護学分野を除く専 門教育科目の選択科目から2 単位以上を修得し、144単位以上修得すること。

- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には、設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 ・ 「認可時又は届出時に大学集刊自全で、後年、兼担教員が担当する科目を含む。)を
 黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 ・ 「應修希望者がいなかったために末期議となった料目についても料目名の後ろに「(未開議)」として記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
 ・ 不要な年度(今和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
 ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) - ②授業科目表に関する変更内容

【 7 44 ~ + 注入 ・ 担当者変更により、「情報リテラシー」の兼担・兼任の配置を「兼 1 」から「兼 2 」に変更。 ・ 病気療養休暇取得中の教員と次年度以降の就任予定者がいるため、「基礎ゼミナール」の専任教員等の配置を「教授11」から「教授 8 」、「准教授 4 」から「准教授 3 」、「講師 7 」 ・病気療養休暇取得中の教員と次年度以降の就任予定者がいるため、「基礎ゼミナール」の専任教員等の配置を「教授11」から「教授8」、「推教授4」から「病気療養休暇取得中の教員がいるため、「看護理論と看護実践への活用」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「兼0」から「兼1」に変・次年度以降の就任予定者がいるため、「基礎看護生活援助技術演習」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教2」に変更。・次年度以降の就任予定者がいるため、「基礎看護診療援助技術演習」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教2」に変更。・次年度以降の就任予定者がいるため、「基礎看護診療援助技術演習」の専任教員等の配置を「助教6」から「助教5」、「助手6」から「助手4」に変更。・次年度以降の就任予定者がいるため、「基礎看護学実習(1)」の専任教員等の配置を「動教6」から「教授0」、「第0」から「兼1」に変更。・次年度以降の就任予定者がいるため、「地域・在宅君護学概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「兼0」から「兼1」に変更。・次年度以降の就任予定者がいるため、「地域包括ケア論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「兼0」から「兼1」に変更。・次年度以降の就任予定者がいるため、「地域包括ケア論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「兼0」から「兼1」に変更。・次年度以降の就任予定者がいるため、「地域包括ケア論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「動教4」から「助教3」に変更。 「兼0」から「兼1」に変更。

【令和5年度】

・授業担当者変更により、「薬理学」の配置を「兼1」から「兼5」に変更。
・学生担当見直しのため、「基礎看護学実習(1)」の専任教員等の配置を「助手6」から「助手7」に変更。
・湧生担当見直しのため、「基礎看護学実習(1)」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
・病気療養休暇の教員の辞退のため、「成人看護学概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「推教授1」に変更。
・病気療養休暇の教員の辞退のため、「成人看護学概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「推教授1」に変更。
・病気療養休暇の教員の辞退のため、「慢性期看護援助論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「推教授1」に変更。
・病気療養休暇の教員の辞退のため、「基礎ゼミナール」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授4」から「推教授1」に変更。
・病気療養休暇の教員の辞退のため、「最性期看護学実習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
・病気療養休暇の教員の辞退のため、「続告実習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授3」、「准教授2」に変更。
・病気療養休暇の教員の辞退のため、「看護研究方法と看護実践への活用」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」、「准教授2」、「推教授2」、「作教授2」、「作教授2」、「作教授2」、「作教授2」、「作教授2」、「作教授2」、「作教授2」、「作教授2」、「作教授2」、「作教授2」、「作教授2」、「作教授3」に変更。
・病気療養休暇の教員の辞退のため、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」から「推教授4」から「准教授5」に変更。

- 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

	設置時	の計画			変更	状況		備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計)明 <i>与</i>
81 科目	154 科目	11 科目	246 科目	81 科目 []	154 科目 []	11 科目 []	246 科目 []	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)
 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入して ください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。 (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計	_	0	_	0	%
設置時の計画の授業科目数の計(A)	_	246	_	V	90

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分				内				容			備考
(1)		区	分		専	用	共	用		≒用する 学校等の			計	
44		校 쇩	小	也		125, 513. 44 m²		0 m²			0 m	2	125, 513. 44 m²	
校		運動	場用地	1		22, 120 m²		0 m²			0 m	2	22, 120 m²	
地		小	Ē	ŀ		147, 633. 44 m²		$0\mathrm{m}^2$			0 m	2 1	147, 633. 44 m²	
rete:		そ	の他	1		116, 886. 25 m²		0 m²			0 m	î	116, 886. 25 m²	
等		合	Ē	ŀ		264, 519. 69 m²		0 m²			0 m	î ²	264, 519. 69 m²	
					専	用	共	用		も用する 学校等の			計	
(2) 校			舎			86, 422. 9 m²	86, 422. 9 m ² 0 m ²		01		0 m	î ²	86, 422. 9 m²	
					(86, 422. 9 m²)	($0\mathrm{m}^2)$	(0 m²			(86, 422. 9 m²)	
				講	義室	演	室 室	実験実習	室	情報処	0.理学習的	E設 :	吾学学習施設	
(3) 教		室	等		7(0室	95室		138室			14室	4室	大学全体
						¥ 00¥			(補助職員 0人		人) (補	財職員 0人)		
(4) 専	任教	対員研究	室			新設学部	等の名称			室		数	Į.	
							看護学部 看護学科			1			39 室	学如光ルズの杜ウ丁光 4
(5)	図書 新設学部等 [うち外国書]			学術雑誌 「うち外国書」 電子ジャー		-ナル	- 視聴覚資料		幾械・器具	標 本	学部単位での特定不能なため、図書・学術雑誌・ 視聴覚資料については大学全体の数。			
(0)	の名称			3/100/	m	種	〔うち外国			点		点点	共用図書及び看護学専門	
			524, 86	3 [126, 94 8 [126, 59 5 [127, 80	30, 248	[23, 434] [21, 689] [21, 624]	24, 144 〔22 22, 173 〔20 22, 112 〔20), 780]	15, (14, (14, (902	6, 318	36	図書の増加に伴う変更(4) 共用図書及び看護学専門 図書の増加に伴う変更(5)	
図書・		看護学部 (531		(524	1, 173 (126, 948)) (32, 221 (2 4, 076 (126, 560)) (30, 220 (2 0, 985 (127, 808)) (29, 687 (2			(24, 144 [22 (22, 173 [20 (22, 112 [20	780)	(15, ((14,) (14,)	813)	(6, 318)	(36)	
設 備		計		524, 86	3 [126, 94 8 [126, 59 5 [127, 80	30, 248	[23, 434] [21, 689] [21, 624]	689) 22, 173 (20)		14, 9	15, 032 14, 902 14, 597		36	
		н		(524	, 173 〔126, 94 , 076 〔126, 56 , 985 〔127, 80	(30, 220	[23, 434]) [21, 689]) [21, 624])	(24, 144 [22 (22, 173 [20 (22, 112 [20), 780])	780) (14, 813)		(6, 318)	(36)	
(6) 図		書	館		面	積		閲覧座り	常 数		収	納可	能冊数	
						6, 194. 4	1 m ²			566			560, 000	
(7) 体		育	館		面	積					ペーツ施設			
	- 1	I				5, 705. 9		テニスコート						共同研究費等は大学全
				<u> </u>	分	開設年度	完成年度		分	開設前	17年度	開設年度	完成年度	体、学術奨励寄付と受託 研究を含む。図書費につ
(8)		経費 の見 積り	教員 1	人当り	研究費等	360千円	360∓	円 図書購	入費		0千円	12, 800千 12, 200千	円 7,100千円 円 5,000千円	いては電子ジャーナル・データ ベース整備費(運用コスト含 む)を含む
経費の 積り及 維持 の 概	び i法		共 同	研 3	究費等	18, 500千円	18, 500∓	円 設備購	入費	322, 00	00千円	7,000千 5,500千	円 7,000千円 円 5,500千円	他学部との調整による図 書・設備購入費の増額に 伴う変更(4)
~ J 1196	学生1人当り 第1年次				1 年次	第2年次	2年次 第3年次 第		第4年次 第5年次		第6年次			
		納付金 1,900千円 1,700千円						1,700千円	1, 7	700千円	-	- 千円	一 千円	
		学生	納付金	以外の	の維持方法の概要なし									

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、<u>その他の</u> 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ <u>昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正</u>するとともに、 <u>その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入</u>してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	0 0) 〇 大 学									1	平均入学定員 超過率1.15倍 以上の学科数	収容定員充足 率0.7倍以下の 学科数	1	収容定員充足 率1.15倍以上 の学科数	1
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定員	収容定員	学位又 は称号	平均入学定員超過率	平均入学 定員超過率 (控除後)	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設 年度	所在地		備	考	
	年	人	年次	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度					
文学部	4	285	- -	1140	-	0. 87	-	0. 88	-	-	昭和24	愛知県名古屋市 守山区大森二丁 目1723番地				
日本語日本文化学科	4	70	-	280	学士 (日本語日本文 化学)	1. 11	-	1. 11	-	-	昭和29	同上				
英語英米文化学科	4	90	-	360	学士 (英語英米文化 学)	0. 82	-	0. 83	-	-	昭和24	同上				
外国語コミュニケーション学科	4	80	-	320	学士 (外国語コミュ ニケーション 学)	0. 70	-	0. 72	-	-	平成9	同上				
音楽芸術学科	4	45	-	180	学士 (音楽芸術学)	0. 93	-	0. 91	-	-	平成25	同上				
生活環境学部	4	230	-	920	-	1. 02	-	1. 01	-	-	昭和37					
生活マネジメント学科	4	70	-	280	学士 (生活環境学)	0. 93	-	0. 93	-	-	平成4	同上				
環境デザイン学科	4	80	-	320	学士 (生活環境学)	1. 09	-	1. 08	-	-	平成14	同上				
食環境栄養学科	4	80	-	320	学士 (生活環境 学)	1. 04	-	1. 02	-	-	平成14	同上				
国際情報学部	4	170	-	700	_	0. 95	-	0. 95	-	-	平成24	同上				
国際情報学科	4	170	3年次 10	700	学士 (国際情報学)	0. 95	-	0. 95	-	-	平成24	同上				
グローバルスタディーズコース	4	85	3年次 5	350		0. 85	-	0. 86	-	-	平成24					
メディアスタディーズコース	4	85	3年次 5	350		1.04	-	1. 04	-	-	平成24					
人間科学部	4	305	-	1250	-	0. 95	-	0. 94	-	-	平成14	同上				
現代子ども教育学科	4	120	3年次 5	490	学士 (人間科学)	0. 93	-	0. 92	-	-	平成14	同上				
多元心理学科	4	110	3年次 5	450	学士 (人間科学)	1. 09	-	1.1	-	-	平成23	同上				
コミュニティ福祉学科	4	75	3年次 5	310	学士 ^{(コミュニティ} 福祉学)	0. 76	-	0. 75	-	-	平成24	同上				
薬学部	6	150	-	900		0. 99	-	0. 99	-	-	平成17	同上				
薬学科	6	150	-	900	学士	0. 99	-	0. 99	-	-	平成17	同上				
<u>看護学部</u> 看護学科	4 4	100 100	-	400 400	学士	1. 03 1. 03	-	1. 03 1. 03	-	-	令和4 令和4	同上 同上				
大学全体		1240	3 年次 25	5310	-	-	-	-	-	-	-	-				

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等 (短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。 なお、<u>本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません</u>。 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
 - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、<u>必ず下線を引いてください</u>。
 - 「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の 入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」 附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。ロ
 - なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「一」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」 第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「一」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。 また、<u>0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、**必ず太字にしてください**。</u>
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

(2) 専任教員数等

(注)・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく 「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を 連係協力学部等(連係協力学科)。ことに別ファイルで作成してください。

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
12	6
名	名

- (注)・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項 により算出される専任教員数を記入してください。
 - 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、 高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) -② 専任教員等数【大学·高専】

		設置時	の計画			現在(報告時)の状況									
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')				
11	4	7	12	34	10	10	5	7	12	25	4				
(9)	(3)	(5)	(8)	(25)	(4)										
	現在(報告時)の	完成年度時	が状況		現在(報告時)の完成年度時の計画									
教 授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C ')	教 授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')				
10	5	7	12	34	10	10	5	7	12	34	10				
[🛕 1]	[1]	[-]	[-]	[-]	[-]	[▲1]	[1]	[-]	[-]	[-]	[-]				

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 - ・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、 数員書査を受害済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、 「現在(報告時)の代刊」におり、本語をに、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、
 - 「現在 (報告時) の状況」に配入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を配入するとともに、
 - []内に設置時の計画との増減数を記入してください。 (記入例: 1名減の場合:△1) ・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 - [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)
 - (2) ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
68	1	2
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、 「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) = 34 設置時の計画(A) = 100 %

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

<u>報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数</u> = 1 1 25 4 9% 現在(報告時)の状況(B)

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C') = 10 100 9% 設置時の計画(A') = 100 100 9%

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番 号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定	科目	後任	補充状法	況	京	优任辞退	【未	就任)の理	ф	
				必修	基礎ゼミス	トール		1							
				必修	看護理論と看護実	践への活用		2 1							
				必修	家族看記	養論		1		•					
				必修	成人看護	学概論		1							
1	教授	山手 美和	R4. 2	必修	慢性期看護	援助論		1		R4.2病気療養休暇取得のた R4.2病気療養休暇取得後述					
'	秋 技	山于 夫仙	R4. 9	必修	成人看護拉	爰助論		1		K4. Z 内 式:	煮食 体	₹X#X# (5		の木別	.1±
				必修	慢性期看護	学実習		1							
				必修	統合実	習		1							
				必修	看護研究方法と看護実践への活			1		•					
				必修	卒業研	究		1							
		合計	(D)						後	经任補充状況	の集計	(E)			
京	就任を辞退した教員数 担当科目数の合計(c)	①の合計	ł数 (a)	_	②の合計	l数(b))	③の合計	l数(c))
		必修			10 科目		必修	10	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択		0 科目	1	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目		
	1	人	自	由	0 科目	1	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			ī	+	10 科目	1	計	10	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全て<u>の専任教員</u>の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3)-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番	号	職	位	専任教員氏	氏名	時期	必修・選択・自由	の別 担当	担当予定科目			補充状法	兄		辞	任等	の理由		
					合計	(F)				後任補充状況の集計(G)									
		辞	任し	した 教員数		担当科目	数の合計	(a) + (b) + (c)	①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計数				数 (c)					
						必	修	#VALUE!	科目		必修	00	科目	必修	00	科目	必修	00	科目
	0 人				択	#VALUE!	科目		選択	00	科目	選択	00	科目	選択	00	科目		
			0 .		λ.		自由 #		科目		自由	00	科目	自由	00	科目	自由	00	科目
						ā	+	0	科目		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、<mark>赤字</mark>にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

	後任補充状況の集計 (E) + (G)														
辞任等した教	辞任等した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)						①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)		
		必修	2	科目	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目		
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目		
1	, ,	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目		
		計	2	科目	計	1	林田	計	1	科目	計	0	科目		

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F)	_	1 _	2.04	04
(2)-②設置時の計画(A)	_	34	2.54	70

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

(注)・(3) -①、(3) -②で<mark>赤字</mark>で記載した専任教員数の合計数を記載してください。 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職	位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予算	定科目	後任補充	状況			辞任等の)理由		
														_
	<u> </u>		É	L 計			後任補充状況の集計						_	
	辞	任し	した教員数	担当科目数の合語	it (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計			数 (c)				
				必修	#VALUE!	科目	必修	00	科目	必修	OO 科目	必修	00	科目
		選択	#VALUE!	科目	選択	00	科目	選択	OO 科目	選択	00	科目		
		0	, ,	自由	#VALUE!	科目	自由	00	科目	自由	00 科目	自由	00	科目
				計	0	科目	計	0	科目	計	0 科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

	(4)	専任教員交代に係る	「大学の所見」	及び	「学生へ	の周知方法」
--	-----	-----------	---------	----	------	--------

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附帯事項	等	履行状況	今後の の実施計画
認可時(令和3年)	該当なし			
設置計画履行状況調 査 結 果 (令和4年度)				

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。</u>)と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
 - ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、 以下のとおりに記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)(5)」と記載してください。

【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】 「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u>

全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。 その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

	設	置	時	の	計	画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし							

(注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD·SD活動含む)

① 実施体制

- a 委員会の設置状況
 - ·大学FD委員会

教育、研究、管理運営、社会貢献等、教員が関わる全ての領域にかかる能力開発に関する諸活動を行い、学部・研究科FD活動と連携し、活動状況の検証及び改善を行うことを目的に「大学FD委員会」を設置している。

·看護学部FD委員会

看護学部では、大学FD委員会と連携するため、看護学部FD委員会を設け、その目的を看護学部のFDに関する諸活動を統括し、教員の教育と研究能力を高めることとしている。

- b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)
 - ·大学FD委員会

大学FD委員会は、学長、副学長、学部長、研究科長、教務部長、学生部長及び学長補佐を構成員とし、都度開催し、令和4年度は6回開催している。毎回ほぼ全員が出席している。

·看護学部FD委員会

看護学部FD委員会は、学部長、学科主任(委員長)および専任教員3名を構成員とし、都度開催している。令和4年は5月に開催し、年間計画、FD研修会の開催時期、開催回数、研修テーマを検討し、都合7回開催している。構成委員は全員参加している。

- c 委員会の審議事項等
 - ·大学 F D 委員会
 - (1) 大学 F D 活動の基本方針の提案及び年度課題の提示
 - (2) 大学FDに関する調査、研究
 - (3) 大学FDに関する研究会・ワークショップの開催
 - (4) 各学部・研究科のFD活動の検証
 - (5) 学生による授業評価の実施及び実績の検証
 - (6) 教員の教育環境、研究環境の検証
 - (7) その他、第2条の目的に照らして必要と本委員会が判断すること
 - ·看護学部FD委員会
 - (1) カリキュラムの検討及び改善のための提案
 - (2) 授業の内容、方法、シラバスの検討及び改善のための提案
 - (3) FDに関する研究会・セミナー・ワークショップの開催
 - (4) FDに関する調査、研究及び改善のための提案
 - (5) 教員等の研究成果の検討及び改善のための提案
 - (6) 教員等の研究環境の検討及び改善のための提案
 - (7) その他、第2条の目的に照らして必要と判断されること。

② 実施状況

a 実施内容

大学FD委員会

- ・FD交流集会(FD講演会)における教育・研究に関する講習会の実施 全学教員を対象に「FD交流集会(FD講演会)」を開催する。テーマは大学FD委員会が決定する。
- 教育に関する学科別協議会

毎年度全学科が個別の議題について実施する「教育に関する学科別協議会」において、全学統一テーマを設定する。議論の結果は大学FD委員会に報告され、全学で共有する。

・学生による授業評価 (アンケート)

隔年で前期・後期それぞれの全開講授業を評価対象として実施する。アンケート結果は学部長、教務部長、学科 主任にフィードバックする予定である。

看護学部FD委員会

·看護学部FD研修会

以下のテーマで2回の研修会を企画した。

- 1) PROGテスト看護版の結果に基づく看護学部の学生の傾向、特徴について
- 2) ICT推進と学生支援
- 教育に関する学科別協議会

第1部 学生の学修意欲向上への課題と今後の取組み、第2部 ICT教育に関する今後の方向性

・学生による授業評価(アンケート)

令和4年度は大学のルールに則り、後期の科目担当者が1科目を選択して授業評価アンケートを実施した。

b 実施方法

大学FD委員会

· F D 交流集会 (F D 講演会)

全学教員を対象に「3ポリシーに基づく大学教育のあり方について」をテーマに実施した。

教育に関する学科別協議会における統一テーマによる議論

令和4年度は統一テーマを設定せず、学部学科でテーマを設定して実施することとした。

・学生による授業評価 (アンケート)

令和4年度は後期科目について、それぞれの教員の開講授業の中から1科目を評価対象として実施した。 令和5年度は前期科目について実施する予定である。

看護学部 F D委員会

·看護学部FD研修会

テーマは教員への希望調査をベースに看護学部FD委員会が決定し、次の2回の研修会を全教員対象に実施した。

- 1) PROGテスト看護版の結果に基づく看護学部の学生の傾向、特徴について
- 2) ICT推進と学生支援
- 教育に関する学科別協議会

第1部 学生の学修意欲向上への課題と今後の取組み、第2部 ICT教育に関する今後の方向性

c 開催状況(教員の参加状況含む)

大学FD委員会

· F D 交流集会 (F D 講演会)

大学FD研修会「3ポリシーに基づく大学教育のあり方について」を開催、令和4年11月16日、全教員対象に対面で行い、後に動画配信しオンライン視聴も可とした。

・教育に関する学科別協議会における統一テーマによる議論

令和4年度は統一テーマを設定せず学部学科でテーマを設定し、夏期休暇期間に全学科が原則全教員参加として、教育に関する学科別協議会を開催した。学科別協議会実施後に各学部学科から報告を集約した。

看護学部FD委員会

- FD研修会
- 1) PROGテスト看護版の結果に基づく看護学部の学生の傾向、特徴について、令和4年9月28日開催、学部教員27名
- 2) ICT推進と学生支援、令和4年11月30日開催、学部教員27名
- 教育に関する学科別協議会

第1部 学生の学修意欲向上への課題と今後の取組み、第2部 ICT教育に関する今後の方向性 初年度前期を終えて、学生生活全般およびICT教育について、主に学生の学修意欲向上の観点から気づきを共有 し、改善点等を協議した。看護学部教員27名および事務職員2名が参加した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

上記の実施内容を踏まえて、学部の各委員会(教務委員会、看護実践教育委員会、ICT教育委員会、学生生活委員会等)および大学FD委員会、学部教授会、学科会議が、授業改善や学生への教育指導方法の改善に向けた教員の資質向上について検討していくこととしている。

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

令和4年度は後期科目について、11/1 (火) ~11/25 (金) に実施した。 令和5年度は前期科目について、6/12 (月) ~6/17 (土) に実施する予定である。 令和4年度は、大学のルールに則り、後期それぞれ担当科目の中から1科目を選択して授業評価アンケートを実施した。令和5年度は、前期の専門教育科目の全科目について実施する予定である。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケートは、各科目ごとに集計した結果を担当教員はポータルサイト上で確認し、授業改善に反映する。また、全学の結果について、教員には教職員専用サイトで、学生に対しては学生ポータルサイトに掲載する。

- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- (3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

少子超高齢化、疾病構造の変化、ライフスタイルの変化、独居世帯や老老世帯の増加、在留外国人の増加、グローバル化による人々の社会・文化的背景、生活習慣・生活様式、価値観の多様化、災害への対応等、これらの要素が複雑に絡み合い、あらゆる人々・地域を対象とした看護ケアの充実を図ることの重要性が高まっている。このような背景を踏まえ、福音主義のキリスト教に基づく金城学院大学は看護学部看護学科を設置し、建学の精神である「世界の平和と人類の福祉に貢献する女性の養成」を継承し、教育スローガンである「強く、優しく。」を基盤とする看護学教育を行い、看護を求める人々にとって最善の利益となる看護ケアを提供することのできる、看護師、保健師を社会に送り出すこととした。

看護学部看護学科は、「豊かな人間性を育むことにより、多様な価値観や文化を尊重し、人間への畏敬の念をもって他者をいたわり、思いやることができる優しさを備え、看護学の専門知識に基づいて自ら考え、判断する力と、確かな看護技術をもって実践する能力を有し、看護の質向上に寄与するために研鑚を重ねることができる看護職者を養成する。」ことを目的としている。

看護学部開設初年度においては教育課程を設置計画通り実施し、開設2年目になって設置計画の教員全員が着任 し、1年次、2年次の教育課程を実施し、設置の趣旨・目的の達成の実現に努めている。

なお、自己点検・評価については以下の体制で行っていく。

· 金城学院大学内部質保証推進会議

金城学院大学では、学則第2条に基づき、金城学院大学内部質保証推進会議を置き、教育・研究、組織・運営、施設・設備の状況について、恒常的に点検・評価し、改善・向上を進める質保証の取組みを行うことを目的としている。本会議の構成員は、学長、副学長、学部長、大学院研究科長、教務部長、学生部長、学長補佐、図書館長、大学宗教主事、国際交流センター長、マルチメディアセンター長、言語センター長、IR室長、大学事務部の部長(部次長)であり、規程の目的の達成に全学的に取り組んでいる。

• 金城学院大学教育課程編成会議

教学マネジメントの取り組みを推進することを目的とする。教学マネジメントとは、本学の教育目的を達成するために行う管理運営であり、アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシーに基づく体系的・組織的な教育を展開し、その成果の点検・評価を行い、恒常的に改善・向上を進める質保証の取り組みである。本会議の構成員は、学長、副学長、学部長、大学院研究科長、教務部長、学長補佐、IR室長、大学事務部の部長(部次長)であり、規程の目的の達成に全学的に取り組んでいる。

· 看護学部自己評価委員会

看護学部は、開設した令和4年度は、設置の趣旨・目的の達成状況に関する自己点検評価作業に向けて、全学の内部質保証推進会議を踏まえ、看護学部自己評価委員会を発足させた。その構成員は、学部長、学科主任、教務委員長、学生生活委員長、入試委員長、大学評議会評議員の体制とした。本委員会では以下のことを行う。

- (1) 本学部の教育・研究活動や組織に関する自己点検・評価の実施
- (2) 本学部の自己点検・評価に関する活動目標及び活動報告の作成
- (3) 自己点検・評価の結果、改善が必要とされる事柄について、本学部関係組織に対する改善を指示
- (4) その他、本委員会が必要と認める事項

令和4年度は、大学の内部質保証推進会議や教育課程編成会議などで行われている自己点検作業に連携し、令和5年度~令和6年度の看護学部の活動・報告を提示した。

今後、学部設置の趣旨・目的についての達成状況を評価するため、アセスメントポリシー策定などを検討する。 完成年度に向けて、設置の趣旨・目的の達成を目指す。

看護学部設置計画履行に関する委員会

看護学部設置計画について、確認事項、修正・変更事項等が生じた場合の対応を検討し、必要に応じて文部科学省に確認を行うこととしている。構成員は、学部長、学科主任、教務委員長、教員2名、および大学事務部、履修支援センター、看護学部事務から各1名である。

設置計画履行調査ワーキング

令和5年度から看護学部の授業評価調査の実施や履行状況を把握する。看護学部教務委員会のワーキング組織とし、看護学部FD委員会、看護学部自己評価委員会と連携して活動する。

② 自己点検·評価報告書

看護学部の自己・点検評価については、完成年度を迎えるまでは大学内部質保証推進会議に基づいて行い、学部の自 己点検・評価報告書は完成年度から1年後に作成し公表する予定である。なお、看護学部を含む全学の自己点検評価 報告書は毎年度作成し公表する。

- a 公表(予定)時期
 - 令和5年5月末 公表予定
- b 公表方法
 - 大学ホームページ上に公開する。

③ 認証評価を受ける計画

本学は、令和3年度に公益財団法人大学基準協会の大学評価(機関別認証評価)を受審し、認定を受けた。看護学部を含む大学評価は、令和9年度に取りまとめ、令和10年度に受審の予定である。

(注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

0	設置計画履行状況報告書(令和5年度)			
а	公表予定の有無〔(有	無)	
≪ a		調査結果公表 ウェブサイト		・ 公表後2~3ヶ月以内・ 公表後3ヶ月以降その他(]
≪ a	**	有	無	J	J

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、 設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

金城学院大学FD委員会規程

(2012年3月12日制定)

(設置)

第1条 金城学院大学(以下「本学」という。) に大学FD委員会(以下「本委員会」という。) を置く。

(目的)

- 第2条 本委員会は、本学全体のFD (Faculty Development) (以下「大学FD」という。) に 関する諸活動を行い、学部・研究科FD活動と連携し、活動状況の検証及び改善を行うための助 言をすることを目的とする。
- 2 この規程における大学FDとは、教育、研究、管理運営、社会貢献等、教員が関わる全ての領域にかかる能力開発を言う。

(構成)

- 第3条 第3条 本委員会は、学長、副学長、学部長、研究科長、教務部長、学生部長、及び学長 補佐のうち学長が指名する1名で構成する。
- 2 本委員会委員の任期は、各役職者の任期とする。

(委員長)

- 第4条 本委員会の委員長は、学長をもってあてる。
- 2 委員長は、本委員会を招集し、議長を務める。

(小委員会)

第5条 本委員会は、必要に応じて各種の小委員会を置くことができる。

(陪席)

第6条 本委員会が必要と認めるときは、構成員以外の教職員を陪席させることができる。 (活動)

- 第7条 本委員会は、第2条の目的を達成するために、以下の活動を行なう。
- (1) 大学FD活動の基本方針の提案及び年度課題の提示
- (2) 大学FDに関する調査、研究
- (3) 大学FDに関する研究会・ワークショップの開催
- (4) 各学部・研究科のFD活動の検証
- (5) 学生による授業評価の実施及び実績の検証
- (6) 教員の教育環境、研究環境の検証
- (7) その他、第2条の目的に照らして必要と本委員会が判断すること (助言)
- 第8条 本委員会が大学FD活動について改善が必要であると判断した場合は、関係する部署の長に助言をすることができる。
- 2 前項の助言を受けた部署の長は、できる限り速やかに活動の改善に努め、その状況を本委員会に適宜報告しなければならない。

(所掌事務)

第9条 本委員会に関する事務は、総務部総務担当がこれを行う。

(施行細則)

第10条 この規程の施行に必要な細則は、別に定める。

(規程の改廃)

第11条 この規程の改廃は、大学評議会の審議に基づき、常任理事会の議決を経てこれを行う。

附 則(2012年3月12日常任理事会)

この規程は、2012年4月1日から施行する。

金城学院大学看護学部FD委員会規程

(2022年4月13日制定)

(根拠)

第1条 この規程は、金城学院大学看護学部教授会規程第12条第2項に基づき、看護学部FD委員会(以下「本委員会」という。) に関して必要な事項を定める。

(目的)

第2条 本委員会は、看護学部(以下「本学部」という。)のFD(Faculty Development)に関する諸活動を統括し、教員、助教及び看護学部助手(以下「教員等」という。)の教育と研究能力を高めることを目的とする。

(構成)

第3条 本委員会は、学部長、学科主任および本学部運営委員会から推薦された専任教員3名、計5名の委員をもって組織する。

(任期)

第4条 運営委員会推薦の委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

(委員長)

- 第5条 本委員会に委員長を置き、学科主任がその任に就く。
- 2 委員長は、委員会を招集し、議長を務める。

(活動)

- 第6条 本委員会は、第2条の目的を達成するために、次の業務を行う。
- (1) カリキュラムの検討及び改善のための提案
- (2) 授業の内容、方法、シラバスの検討及び改善のための提案
- (3) FDに関する研究会・セミナー・ワークショップの開催
- (4) FDに関する調査、研究及び改善のための提案
- (5) 教員等の研究成果の検討及び改善のための提案
- (6) 教員等の研究環境の検討及び改善のための提案
- (7) その他、第2条の目的に照らして必要と判断されること。 (陪席者)
- 第7条 本委員会が必要と認めるときは、構成員以外の関係教職員を陪席させることができる。 (所掌事務)
- 第8条 本委員会に関する事務は、本学部事務室がこれを行う。 (規程の改廃)
- 第9条 この規程の改廃は、教授会の議決を経て、これを行う。

附 則(2022年4月13日看護学部教授会)

この規程は、2022年4月13日から施行する。